

寄せられた声

・新しい庁舎で新しい業務のやり方をすると思うが、AIの発展速度が速いので、余剰人員や余剰時間でどういう働き方をするのか、20～30年後を考えながらやる必要があるのでは。

・観光業は数少ない成長産業であり力を入れてほしい。嬉野はインフラがあるので、もっと力を入れていってほしい。

・もっと自由で、もっと地域にコミットした働き方を目指してほしい。

・もっとDX化が必要。AIを使っていって、重要な事業に人員を配置できるようにしていってほしい。

・AIを使いこなせる人員が1人いれば、もっと効率化する。社会のクリエイティブな部分や最先端の部分を見て取り入れていってほしい。

・市外発注が多いように感じる。新庁舎建設でも、太陽光パネル部分とか市内の会社に流すようにすれば、市内の経済が潤うのではないか。

・チャオシルについて。市営施設についても、嬉野は良い旅館が多いので、それらの持つアイデアや見せ方を使っていってもっとよ良くしていってほしい。メニューも入れ替え続けたりインバウンド対応にするなど改良していってほしい。

・道の駅にオープンキッチンを作って、地元産物を使ってキャンピングカーや旅行者が自由に料理しながら交流できるようになれば良いのではないか。

・チャオシルなどの公共施設に旅館などの持つパワーをうまく当てはめる。嬉野の観光の力を使っていってほしい。

・嬉野楽市楽座とか塩田楽市楽座とか商業が賑わう施策を展開してほしい、

・東彼杵は良い意味で経営指導がなされていて飲食店などの自営業が増えている。同じような仕組みやチャレンジショップなどを考えてみてほしい。

・インバウンドの人向けの施策の例として、ニセコでは高級ブランド（Dior）が進出し成功して

いる。同じような取り組みができないか。

- ・地元で廃棄するものをアップサイクルする店を作ってはどうか。開発力のある企業を引っばってこれないか。

- ・嬉野の素材を使ってくれる力のある企業を誘致してほしい。

- ・嬉野のブランディングをしっかりとやる企業を大きくしてインバウンド客などを通じて海外での知名度を上げ、さらにインバウンドが増える、といったような好循環な仕組みができないか。

- ・値段が高くても海外の人は買うので品質の良いものを作ったほうが良い。

- ・日本の都会でも高額で売れるので、スタートアップなどを支援して、製品などの展開も支援して欲しい。

- ・成功事例をもっと拡大するための事業展開なども支援してほしい。

- ・挑戦者を受け入れる土壌を作っていて、挑戦者が来たくなる街にし、民間活力をたくさん使って街づくりを進めて欲しい。

- ・嬉野の人同士が知り合える接点をもっと作っていて欲しい。

- ・二次交通が微妙なので、せっかくの消費を逃している。旅行業と連携してバスを効率的に活用し、バスの空き時間を使って移動を手助けするような仕組みを作って欲しい。

- ・観光協会などで、現地オプションツアーを作って欲しい。

- ・マイクロバスを有効活用して人と金の流れを作れないか

- ・観光協会が入っているバスセンターをオプションツアーのターミナルに変えていけないか。

- ・波佐見は東京でもブランド力がある。近隣の街と連携して観光客を呼び込んではどうか。

- ・観光消費を点で終わらせず、線にし、面になるよう連携をとって欲しい。

- ・売れる素材を考えて農家に育ててもらい活用して欲しい

- ・嬉野のグランドデザインをもっと描いていく。旅館パワーを使う。

- ・新規就農するにあたり、何を作れば将来売れるのかといった情報が得られない。

- ・トレーニングファームも良いが、品目が限られるため他の品目が育たない。

- ・デイワーク（よかワークのような）をもっと活用していけば良いのではないか。

- ・特別支援学校にお願いして農繁期に手伝ってもらう仕組みを作れないか。

- ・他地域では、養豚家が消費者の声を拾うためにバーベキュー施設を作っている。結果、都会の人たちが知る機会が増え売上が伸びている。オープンキッチンやバーベキュースペースを作って、品目に縛られない生産者のつながりや都会の顧客との接点を増やして欲しい。レストランではなく、オープンなスペースで人が知り合えるような仕組みを作り、点を線に変えていけないか。

- ・地産地消を促し、アップサイクルしていくための場所づくりができないか。

- ・根域制限栽培者同士など、生産者がより繋がれる場所が作れないか。

- ・新規就農は、初期費用が高額なため栽培時点で収益性の高い作物の生産にしかつながらない状況がある。

- ・農業をオプションツアーにするなど様々な人が知り合う場を作ってほしい。

- ・市長の旅行業の免許を活かして欲しい。

- ・計画倒れが多いような気がしている。素早く一步を踏み出しトライアンドエラーで修正していったほうが成長が早い。

- ・長期的な人材育成計画をたて、教育から見直して欲しい。

- ・DNA 診断やマイクロ RNA 診断などのバイオデータや腸内フローラ診断などを活用すれば予防医療が効率的になり医療費削減にもなり健康寿命も延びるのではないか。

- ・農産物・体験・バイオ・観光などつなげて考えられれば良いシナリオが描けるのではないか。

- ・街の人たちの力を活用するため「つながり」を増やす施策を。

- ・インバウンド客の調査などを行い活用することも必要ではないか。